

第2次 あま市男女共同参画プラン

令和6年度特別事業評価シート

令和7年6月
あま市

■あま市男女共同参画プランについて

1 プラン策定の趣旨

本プランは、あま市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画、DV防止、女性の活躍推進に向けた具体的な施策を総合的・体系的に実施するために策定しています。

2 プランの性格等

- ・計画期間は、令和4(2022)年度を初年度とし、令和13(2031)年度を目標年度とします。(10年計画)
- ・策定及び進行管理は、あま市男女共同参画審議会、あま市人権施策推進本部等、幅広い知見と総合的な検討体制のもとで行います。
- ・本プランの施策は、本市が主体となって関係部局相互が連絡調整を図りながら全庁で総合的に取り組むものとします。なお、関係機関・団体や企業への働きかけも取組対象とします。

3 プランの進行管理と評価

- ・1年に1回、実施状況を確認し公表します。また、市民意識調査をおおむね5年ごとに実施し、施策の効果を検証してプランを見直します。

■あま市男女共同参画プランの年次評価について

評価対象	評価項目	評価者	審議会での取り扱い
全事業	・達成度(A:8割以上、B:4～7割、C:3割以下) ・今後の方針(内容、経費)	担当課	・報告、説明
特別事業 (重点的に評価する事業)	・達成度(A:8割以上、B:4～7割、C:3割以下) ・今後の方針(継続、拡充、縮小、廃止) ・経費の実績額(算定できる範囲) ・男女共同参画の視点による配慮度 ・担当課が定める事業指標2項目	担当課 ただし事業指標については、アンケート結果等の客観的評価(アウトカム)を優先して定めてください。	・報告、説明 ・審議会から評価コメントをフィードバック

すべての施策の実施において男女共同参画による視点を持つために ～ジェンダー分析、ジェンダー主流化とは何か～

政策・施策のジェンダー分析とは、社会や家庭における男女の役割・立場が異なっている現状を把握し、施策が男女にどのように異なる影響を与えるか、例えば、現状の格差を拡大するか、縮小するかを分析することである。税制、社会保障制度、賃金制度等、女性の就業を始めとする個人のライフスタイルの選択に大きなかわりを持つことが指摘されている制度については、このような分析が必要とされよう。ただし、これらに限らず、様々な分野においてジェンダーに敏感な視点が有意義である。

例えば、公共施設において、小さい子供を連れ歩くことが危険であったり、不便の多いような建物や接近路の設計が行われていると、子育て中の女性にとって、そこを利用するのは肉体的・精神的な負担が大きいことが予想される。また乳幼児を座らせておく場所が男性トイレにも設置されるようになれば、父親が子供連れで行動しやすくなることが予想される。

男女共同参画社会の実現のためには、あらゆる社会システムの構築とその運営に当たって、それらが実質的に女性と男性にどのような影響を与えるかを常に検討する必要がある。このように、ジェンダーに敏感な視点をあらゆる分野に定着・深化させること、また、あらゆる分野の政策・施策の実施主体がジェンダーに敏感になることをジェンダー主流化(gender mainstreaming)と言う。

第2次あま市男女共同参画プランの体系

(目標像)

いろいろな 私でいい あなたでいい みんなが笑顔で活きるまち

基本目標1

人権尊重と男女共同参画
への意識改革

基本方針

- 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発
- 2 子どもにとっての男女共同参画
- 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実

基本目標2

あらゆる分野での
男女共同参画の推進
(あま市女性活躍推進計画)

- 4 政策決定過程への女性の参画の拡大
- 5 様々な分野における男女共同参画の拡大
- 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組
- 7 誰もが働きやすい職場環境づくり

基本目標3

誰もが安心して暮らすこと
ができるまちづくりの推進

- 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援
- 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援
- 10 生涯を通じた女性の心とからだの健康支援
- 11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進

基本目標4

あらゆる暴力の根絶
のための基盤づくり
(あま市DV防止基本計画)

- 12 暴力の根絶に向けた意識啓発
- 13 犯罪防止に配慮した環境整備
- 14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実

男女共同参画プラン 特別評価対象事業一覧

基本 目標	基本 方針	事業 番号	事業(取組)名	担当課
1	1	5	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	人権推進課
		8	男性全般を対象とした参加型講座の開催	生涯学習課
	2	25	スクールカウンセラーや心の相談員の配置	学校教育課
	3	31	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施	学校教育課
2	4	49	審議会、委員会への女性の登用促進	関係各課
		51	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実施や女性リーダーの育成	人事秘書課
	5	56	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	企画政策課
		57	社会教育活動を担う女性団体への支援	生涯学習課
	6	59	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知	商工観光課
		65	集団保育が可能な障がい児保育の実施	保育課
		66	病児病後児保育の実施	保育課
		68	ファミリー・サポート・センター事業の実施	子ども福祉課
		70	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施	障がい福祉課
		76	交流の場である「ふれあいカフェ(認知症カフェ)」の開催	高齢福祉課
	7	80	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供	人権推進課
3	8	88	シルバーカレッジ(市内在住または在勤の60歳以上の方を対象)、シルバーカレッジOB会(シルバーカレッジ卒業生を対象)の開催	生涯学習課
		89	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施	スポーツ課
		117	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供	スポーツ課
		130	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かくに対応するための母子家庭等相談の実施	子ども福祉課
		138	性的マイノリティ(LGBT等)の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布	人権推進課
	9	145	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備	関係各課
	10	158	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施	健康推進課
	11	171	市の防災会議への女性の登用	危機管理課
		172	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進	人権推進課
4	12	176	女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12日～25日)について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施	人権推進課
	13	184	地域防犯灯の設置支援	危機管理課
	14	197	こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)の実施	健康推進課
		198	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催	健康推進課

計 28

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	5	事業名	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等の開催	担当課	人権推進課						
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発								
施策概要	施策②男女共同参画に関する理解を深めるための意識啓発と情報の提供										
施策概要	男女共同参画の視点に立った講演会、パネル展示、セミナー等を開催する。 (男女共同参画講演会、男女共同参画週間パネル展、男女共同参画セミナー、男女共同参画職員研修)										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画		②達成度	③実績		④方針						
男女共同参画週間パネル展 開催日 令和6年6月24日（月）～6月28日（金） 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 男女共同参画のキホン - 防災編 - 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部男女共同参画部会員 32人 開催日、内容 ①令和6年9月5日（木） 男女共同参画 ②令和6年12月20日（金） アンコンシャス・バイアス		A:8割以上	男女共同参画週間パネル展 開催日 令和6年6月24日（月）～6月28日（金） 場 所 市役所1階市民活動スペース 内 容 男女共同参画のキホン - 防災編 - 男女共同参画職員研修 対象者 あま市人権施策推進本部男女共同参画部会員 32人 開催日、内容 ①令和6年9月5日（木） 「男女共同参画の変遷と課題」 ②令和7年2月21日（金） 「アンコンシャス・バイアスとは」		継続						
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
男女共同参画週間パネル展について、令和5年度までは美和文化会館で実施していた。令和6年度は、庁舎1階市民活動スペースを活用し、より多くの市民に向けた啓発ができたと思う。											
【参考指標】			【予算／実績】								
① 催事に参加した市民の満足度（アンケート結果）「非常に満足」または「満足」の割合			講演会、パネル展、セミナー、職員研修にかかる報償費、需用費、委託料等								
② 職員研修参加者の満足度（アンケート結果）「非常に有効」または「有効」の割合											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	82.5%	65.6%	100.0%			予算（千円）	401	66	52	50	
②	96.7%	69.7%	94.3%			実績（千円）	232	40	46		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いたまたは双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
5点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	8	事業名	男性全般を対象とした参加型講座の開催				担当課	生涯学習課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革				基本方針 1 人権の尊重と男女共同参画の意識啓発						
	施策③男性の意識改革や家事参加に向けた取組										
施策概要	生涯学習講座の 1 コマとして、男性全般を対象とした参加型講座を開催する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
生涯学習講座において、男性全般を対象とした参加型講座を開催する。				B:4～7割		生涯学習講座において、子育て中のママ＆パパ等を対象とした参加型講座「時短料理講座」を開催した。 開催日：5月12日・19日・26日（日） 場 所：美和公民館 1階調理室 時 間：午前10時～正午 対 象：一般（18歳以上） 定 員：24名 参 加：5名 内 容：和洋中、すぐに実践できる家庭料理を作った。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 講座回数						講師謝礼					
② 定員に対する参加率											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	5回	5回	3回	6回		予算（千円）	35	35	21	42	
②	55.0%		20.0%			実績（千円）	35		21		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	25	事業名	スクールカウンセラーや心の相談員の配置				担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革				基本方針 2 子どもにとっての男女共同参画						
	施策⑥児童虐待等の早期発見と未然防止										
施策概要	学校支援会議を開き、スクールカウンセラー・相談員（市雇用）を派遣する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
校長からの要請があり、緊急ケース会議が開かれることとなった場合で、希望があつて調整がつけば教育相談センターの心理支援相談員及びスクールカウンセラーも会議に参加する。					C:3割以下	緊急ケース会議を開催し、令和 6 年度より新たに配置したスクールソーシャルワーカーが会議に参加したが、校長から心理支援相談員の参加要請がなく、心理支援相談員が参加した緊急ケース会議はなかった。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 心理支援相談員等配置数						教育相談支援費（R5まで）					
② 心理支援相談員等が緊急ケース会議に参加した回数						教育相談室費，学校支援室費（R6から）					
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3人	3人	8人	7人		予算（千円）	6,013	5,659	11,146	8,805	
②	0回	0回	0回			実績（千円）	5,448	5,529	10,203		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	31	事業名	人権と男女平等をテーマにした調べ学習やグループ学習の実施				担当課	学校教育課			
プランにおける位置づけ	基本目標 1 人権尊重と男女共同参画への意識改革		基本方針 3 男女平等意識を育てる教育・学習の充実								
施策概要	施策⑦男女平等の意識を育てるための教育の充実										
施策概要	総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績				④方針		
総合的な学習・道徳の時間を通して人権についての学習を実施する。			A:8割以上		小学校 1 2 校中学校 5 校すべての学校で人権や男女平等をテーマにした学習を実施した。 各教科において、「人権尊重の教育の視点」を取り入れた授業を実践した。 道徳では、人との関わりにおいて思いやりの心を育てた。 総合的な学習では、体験的に地域の自然、人々や文化など関わることで人権意識を育てている。 特別活動では、小学校においては異年齢集団活動を通して、自己を認め、互いの立場や考えを尊重できる場を設定した。 ハッピートークを始めとした出前授業や、七宝中学校で実施している「しっぴータイム」をはじめ多くの学校が独自の取り組みを実施することにより、自己肯定感を高めたり、社会のあらゆる差別・偏見をなくしたりするために人権意識を高める教育活動を行った。				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 実施学校数						（当該事業にかかる予算特定不能）					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	17校	17校	17校	17校		予算（千円）					
②						実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	49	事業名	審議会、委員会への女性の登用促進				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進				基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大						
施策概要	施策⑩審議会等への男女共同参画の促進										
施策概要	あま市の審議会、委員会への女性登用率の目標を「第 2 次あま市男女共同参画プラン」において令和13年度までに30%に定め、審議会等の委員の選出時に女性を積極的に登用する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、人権施策推進本部会議で啓発し、全職員が共有できるようにする。				A:8割以上		審議会、委員会等の委員の選出時に女性を積極的に登用するよう、4 月に人権施策推進本部会議及び庁内情報掲示板で啓発した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 審議会等（地方自治法第 2 0 2 条の 3）への女性の登用率						予算を伴わない					
② 啓発回数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	27.2%	28.5%	27.9%			予算（千円）					
②	1回	1回	1回			実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	51	事業名	女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクション（積極的改善措置）の実施や女性リーダーの育成				担当課	人事秘書課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進						基本方針 4 政策決定過程への女性の参画の拡大					
施策概要	市役所の女性職員を管理職に登用するポジティブ・アクションの実施											
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針												
①計画						②達成度		③実績				④方針
女性職員の能力や適性を考慮し、管理職に登用する。						A:8割以上		新たに女性職員 2 人を管理職（主幹 2 人）に登用した。				継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
女性職員の能力や適性を考慮し、積極的に管理職に登用するにあたり、一般事務職の女性職員の割合が少ないため、女性の管理職候補者が少ないことが課題。今後長期的な視点で改善を図る必要がある。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 一般行政職主査級担当職以上に占める女性職員の割合						予算を伴わない						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	38.2%	39.4%	41.3%	43.0%		予算（千円）						
②						実績（千円）						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○		
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
3点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供				担当課	企画政策課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進						基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大					
施策概要	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。											
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
市民活動団体の運営相談 市民活動及び団体等の情報収集・発信				A:8割以上		●市民活動に関する情報提供（SNS投稿件数） Facebook 111件（R5：72件） Instagram 113件（R5：69件） 公式LINE 15件（R5：11件） メールマガジン 3件 ※5月で配信停止（R5：20件） ボランティア募集メール等 6件（R5：22件） 248合計件（R5：194件） ●登録団体からの情報収集件数 口頭、チラシ、電話、メール、等 合計150件（R5：387件） ※団体からチラシの提供があった数を集計した。 ※ニュースレター4月号でイベントカレンダーへの情報提供を停止したため減少した。 参考：来館者集計の「情報提供・情報収集・見学」は11月末で328件。 ●市民活動団体の運営相談 合計167件（R5：226件） ●市民活動祭の開催 テーマ 「つながりから生まれる『元気な未来！』」 日時 令和6年10月12日（土）10：00～15：30 場所 あま市文化の杜（美和文化会館） 内容 【大ホール】 総参加者数 約3,800名（R5 約3,600名） （一般来場者、プログラム参加団体関係者、学生・一般ボランティア、スタッフ他含む） 出展（店）ブース数 85ブース（R5：63ブース）				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 市民活動祭の一般参加者による日頃ボランティアに参加しているかの数値						市民活動センター事業費および市民活動祭運営費						
② 市民活動祭の一般参加者による参加希望活動があったかどうかの数値												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	30.0%	48.0%	48.0%			予算（千円）	12,228	12,416	12,782	12,996		
②	25.0%	—	—			実績（千円）	12,227	12,416	12,782			

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	56	事業名	地域活動団体に対する情報交換や交流の場の提供	担当課	企画政策課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大 施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実				
施策概要	地域で活動する市民活動団体の拠点となる施設「あま市市民活動センター」を中心として、市民活動に関する情報、団体等の連携・交流の場の提供を行うとともに、「市民活動祭」を始めとした交流事業を通じて、地域活動団体及び市民活動団体の活動状況を広く周知し、参加した市民や団体の交流の場を提供する。				
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）					
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。					○
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。					○
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。					○
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。					○
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。					○
					5点
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント					

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援				担当課	生涯学習課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進						基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大					
施策概要	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実											
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。											
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
ホウ酸団子作り 日 時：5 月～6 月 会 場：各地区 廃品回収 日 時：6 月・11 月 会 場：各地区 主催講座「手芸教室」 日 時：6 月～7 月、2 月 会 場：各地区 夏まつり盆踊り練習会 日 時：令和 6 年 7 月 7 日(日) 午後 1 時から 3 時 30 分 会 場：基目寺公民館 講義室 1・2 主催講座「料理教室」 日 時：9～10 月 会 場：コミュニティプラザ萱津 チャリティーバザー 日 時：令和 6 年 12 月 1 日(日) 午後 1 時から 3 時 会 場：基目寺公民館 大ホールホワイエ 主催講座「干支の木目込人形作り」 日 時：令和 6 年 11 月 14 日・21 日(火) 午前 9 時 30 分から正午 会 場：基目寺公民館 研修室				B:4～7割		・ホウ酸団子作り 日 時：4 月～7 月 会場：5 か所（基目寺公民館、本郷、坂牧、下萱津、新居屋のコミュニティ施設） 参加者数：85 名 ・廃品回収 日 時：6 月・11 月 会場：基目寺地内 ・主催講座「防災の講習会」 日 時：令和 6 年 4 月 19 日（金）・5 月 16 日（木） 会場：基目寺公民館 講義室 1・2、大会議室 1 参加者数：96 名 ・主催講座「手芸教室」 日 時：令和 6 年 6 月 20 日・7 月 4 日（木）午前 9 時 30 分～正午 会場：基目寺公民館 講義室 3 参加者数：28 名 ・夏まつり盆踊り練習会 日 時：令和 6 年 7 月 7 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 会場：基目寺公民館 講義室 1・2・3 参加者数：70 名 ・主催講座「楽しいお料理教室」 日 時：1 回目：令和 6 年 9 月 14 日（土）午前 9 時 30 分～午後 1 時 2 回目：令和 6 年 10 月 5 日（土）午前 9 時 30 分～午後 1 時 会場：人権ふれあいセンター 参加者数：各 20 名 ・主催講座「干支の木目込人形作り」 日 時：令和 6 年 11 月 6・13・20 日（水）午前 9 時 30 分～正午 会場：基目寺公民館 研修室 参加者数：23 名 ・チャリティーバザー 日 時：令和 6 年 12 月 1 日（日）午後 1 時～午後 3 時 会場：基目寺公民館 大ホールホワイエ 参加者数：86 名 ・主催講座「手芸教室」 日 時：令和 7 年 2 月 20・27 日（木）午前 9 時 30 分～正午 会場：基目寺公民館 研修室 参加者数：25 名				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① あま市女性の会が主催する事業数						講師謝礼、施設使用料、消耗品						
② 会員数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	6事業	7事業	9事業			予算（千円）	200	200	200	200		
②	103人	127人	133人			実績（千円）	129	177	200			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。												
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
3点												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	57	事業名	社会教育活動を担う女性団体への支援		担当課	生涯学習課
プランにおける 位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進		基本方針 5 様々な分野における男女共同参画の拡大			
	施策⑫男女共同参画の視点に立った地域活動団体への支援の充実					
施策概要	あま市女性の会に対し補助金を交付することにより、女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展を図る。					
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント						

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	59	事業名	休業や休暇、子育て期間中の短時間勤務等の制度の周知				担当課	商工観光課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑬ワーク・ライフ・バランスの普及啓発						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組				
施策概要	広報、市公式ウェブサイト等による情報提供を実施する										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画						②達成度	③実績				④方針
広報、市公式ウェブサイト等による情報提供を行う。						A:8割以上	愛知県労働福祉課からの依頼を受けて令和6年11月号広報に「ワーク・ライフ・バランス推進タウンミーティング」を掲載した。				継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 国・県または関係団体からの依頼数						情報提供にかかる費用					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1 件	1 件	1 件			予算（千円）	0	0	0	0	
②						実績（千円）	0	0	0		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											
										1点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	65	事業名	集団保育が可能な障がい児保育の実施				担当課	保育課				
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
施策概要	施策⑭多様な保育サービスの充実											
施策概要	軽・中程度の集団保育が可能な障がい児及び食物アレルギーのある児童の保育を実施する。											
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
軽・中程度の集団保育が可能な障がい児の保育を実施。 公立保育園 9園実施 私立認定こども園 5園実施				A:8割以上		【実施施設】 ○ 公立保育園：9園 ○ 私立認定こども園：5園 【主な取り組み】 ○「あま市療育等連絡会議」の開催 3回 ・事業計画、実施報告等について ・ケース検討及び情報交換について ・療育研修会の開催 日時：8月30日(金) 午後 2 時より 場所：あま市役所 D会議室 議題：「保護者の「おもい」と子どもの「おもい」を考える」 講師：藤林 清仁氏 （同朋大学社会福祉学部社会福祉学科准教授） 参加人数：41名 ○「あま市障がい児等保育実施委員会」の開催 4回 ・事業計画、実施報告等について ・在園児、入園申込児の処遇審査について ○私立認定こども園に対する経費の補助の実施				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 児童数						障がい児等保育事業費補助金						
② 会議開催数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	147人	129人	142人			予算（千円）	10,242	13,590	16,252	17,036		
②	11回	16回	16回			実績（千円）	15,222	17,239	19,967			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
										4点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	66	事業名	病児病後児保育の実施					担当課	保育課						
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					施策⑭多様な保育サービスの充実				
施策概要	保護者の就労等のために家庭で保育等ができない児童で病気または病気の回復期にあり、集団での保育等が困難な児童を一時的に預かる。														
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針															
①計画					②達成度		③実績					④方針			
実施場所：2か所 あま市民病院内（定員 3 人） ふたば病児保育室（定員 6 人）					A:8割以上		【実施場所（市内2か所）】 ○あま市民病院内（定員 3 人） ○ふたば病児保育室（定員 6 人） 【主な取り組み】 ○研修会への参加（ふたば病児保育室） 「第34回全国病児保育研究大会in鹿児島」 ・会期：7月14日(日)～7月15日(月・祝) ・主催：一般社団法人全国病児保育協議会 ・会場：石川県立音楽堂※オンライン参加 ・内容：特別講演・教育講演・会長講演等 ・参加人数：医師 1 名 ○周知啓発活動（あま市民病院内） ・実施日：10月19日（土） ・場 所：あま市民病院内 ・内 容：「あま市民病院まつり」において来場者への周知・啓発等					継続			
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）															
【参考指標】							【予算／実績】								
① 児童数							障がい児等保育事業費補助金								
② 会議開催数															
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度				
①	147人	129人	142人			予算（千円）	10,242	13,590	16,252	17,036					
②	11回	16回	16回			実績（千円）	15,222	17,239	19,967						
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）															
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。												○			
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。												○			
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												○			
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。												○			
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。												○			
												5点			
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント															

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	68	事業名	ファミリー・サポート・センター事業の実施				担当課	子ども福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 施策⑮地域における子育て支援の環境づくり						基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組				
施策概要	ファミリー・サポート・センター事業の会員が安心して相互援助を行えるよう、会員を対象に育児に関する知識・技術を身につけるための研修会・会報誌の発行等を実施する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
① 計画				② 達成度		③ 実績				④ 方針	
・会員数1,041人 （あま市751人、大治町290人） ・活動件数2,728件 （あま市2,073件、大治町655件） ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行2回 ・インスタグラムを活用し P R を行う。				A:8割以上		・会員数1,047人 （あま市743人、大治町304人） ・活動件数2,741件 （あま市1,692件、大治町1,049件） ・援助会員養成講座10回 ・依頼会員登録説明会12回 ・活動報告・スキルアップ研修2回 ・交流会1回 ・情報交換会1回 ・会報誌発行1回 ・インスタグラムを活用し P R を行った。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 会員数						委託料					
② 活動件数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	749 人	751 人	743 人			予算（千円）	8,647	9,165	9,538	10,359	
②	2,221 件	2,728 件	1,692 件			実績（千円）	8,517	8,684	9,361		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	70	事業名	放課後等デイサービス、日中一時支援事業の実施				担当課	障がい福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進				基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組						
施策概要	施策⑰ 障がいのある子どもへのサービスの充実 平日の放課後や休日、夏休みなど修学時間外に支援が必要な修学児の居場所の確保する。 ・放課後等デイサービス										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
修学時間外に支援が必要な修学児に、放課後等デイサービスの利用を勧める。				A:8割以上		放課後等デイサービス 延べ利用人数 5,169人 延べ利用日数 55,180日 給付額 610,797,773円				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 放課後等デイサービス年間延べ利用人数						扶助費					
② 日中一時支援事業年間延べ利用人数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4,357 人	4,955 人	5,169 人			予算（千円）	476,884	524,755	631,923	724,105	
②	1,136 人					実績（千円）	466,784	529,842	610,797		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催		担当課	高齢福祉課
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進			基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組		
	施策⑩介護者への支援の充実					
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。					
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針						
①計画			②達成度	③実績		④方針
市内 1 2 か所で「ふれあいカフェ」を開催。それぞれのカフェに対し運営費の補助や運営状況の確認をし運営の支援をする。また、新規ふれあいカフェの立ち上げも支援していく。また、期間限定のふれあい青空カフェを開催する。			A:8割以上	①ふれあいカフェ美和 延べ222人参加 場 所：グループホーム第 2 あま恵寿荘 開催日：毎月第3金曜日 13時30分～15時 ②ふれあいカフェ甚目寺 延べ184人参加 場 所：甚目寺総合福祉会館 開催日：毎月第 2 火曜日 10時～11時30分 ③ふれあいカフェあまちゃん中萱津 延べ179人参加 場 所：コミュニティプラザ萱津 開催日：毎月第4木曜日 13時30分～15時30分 ④伊福ふれあいカフェ 延べ430人参加 場 所：伊福地区集会所 開催日：毎月最終木曜日 10時～11時30分 ⑤ふれあいカフェあまちゃん下萱津 延べ169人参加 場 所：下萱津コミュニティ防災センター 開催日：毎月第4月曜日 13時30分～15時30分 ⑥ふれあいカフェあまちゃん甚目寺公民館 延べ150人参加 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第 2 火曜日 時 間：13時30～15時30分 ⑦ふれあいカフェJAの花甚目寺 延べ244人参加 場 所：JA甚目寺 開催日：毎月第1金曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑧ふれあいカフェJAの花美和 延べ195人参加 場 所：JA美和 開催日：偶数月第 2 月曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑨新居屋ふれあいカフェ 延べ219人参加 場 所：新居屋憩の家 開催日：毎月第3月曜日 時 間：10時～11時30分 ⑩ご近所カフェポップ 延べ200人参加 場 所：グループホームボブラ 開催日：毎月第 2 土曜日 時 間：10時～12時 ⑪ふれあいカフェあまちゃん正則 延べ143人参加 場 所：正則コミュニティセンター 開催日：毎月第4土曜日 時 間：9時30分～11時30分 ⑫ふれあいカフェ歌声ぶらす 延べ478人参加 場 所：甚目寺公民館 開催日：毎月第 2 木曜日 時 間：13時30分～15時30分 ⑬ふれあい青空カフェ 延べ 4 6 2 人参加 場 所：あま市役所東側交流広場 開催日：10月9日～11日、13日、15日、16日 時 間：10時～12時 13時30分～15時30分 【令和 6 年度新設】 ⑭みんなのカフェふれあい 延べ271人参加 ※令和 6 年 5 月から 場 所：七宝焼アートヴィレッジ 開催日：毎月第 1 水曜日 時 間：10時～11時30分 ⑮ごいっしょCafé「あ居ま」カフェふれあい 延べ396人参加 ※令和 6 年 7 月から 場 所：特別養護老人ホーム第Ⅱ あま恵寿荘 開催日：毎月第 4 土曜日 時 間：11時30分～13時30分		継続

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	76	事業名	交流の場である「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」の開催					担当課	高齢福祉課		
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進					基本方針 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組					
施策概要	認知症の人やその家族が地域の人や認知症サポーター等認知症の正しい知識を持った者と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場である認知症カフェ（あま市においては「ふれあいカフェ」と称する）を市内で開催する。										
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
ふれあいカフェを実施する団体が2団体増え、前年度より実施回数を増やすことができた。市役所で青空カフェを実施し、ふれあいカフェの周知啓発を実施することができた。実施場所の確保に課題がある。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 開催回数						基幹包括主催カフェ運営費、カフェ運営費補助金					
② ふれあいカフェ運営費補助金申請団体数（予算に対する率）											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	98回	131回	155回			予算（千円）	350	355	519	562	
②	80.0%	100.0%	87.5%			実績（千円）	173	216	455		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	80	事業名	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 2 あらゆる分野での男女共同参画の推進 基本方針 7 誰もが働きやすい職場環境づくり 施策②男女の平等な雇用に向けた開発、情報提供										
施策概要	女性の再就職のためのセミナー等の情報提供をする。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口を設置する。				A:8割以上		女性の再就職のためのセミナー等のチラシを窓口を設置した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
庁舎、公民館など、より多くの市民の目に触れるように配慮した。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 情報提供回数						啓発活動にかかる消耗品費等					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	3回	3回	3回			予算（千円）	0	0	0	0	
②						実績（千円）	0	0	0		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	88	事業名	シルバーカレッジ（市内在住または在勤の60歳以上の方を対象）、シルバーカレッジOB会（シルバーカレッジ卒業生を対象）の開催				担当課	生涯学習課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	高齢者の生きがいや健康づくり活動に貢献するとともに、高齢者が本事業を通じて培った知識を生かし、地域発展の一助となるための事業を展開する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図る。 期 間 6月8日（土）から1月25日（土）まで 講 座 全21回 場 所 シルバーカレッジ教室 他 定 員 36名				B:4～7割		市内在住又は在勤の60歳以上の方を対象にシルバーカレッジを開校し、学習と交流の場を提供するとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を図った。 期 間 6月8日（土）から1月25日（土）まで 講 座 全21回 場 所 シルバーカレッジ教室 他 定 員 36名 参加者 36名（うち卒業生：35名）				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 講座回数						講師謝礼					
② 定員に対する参加率											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	20回	21回	21回			予算（千円）	349	320	350	306	
②	80.0%	91.7%	80.0%			実績（千円）	308	300	347		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施				担当課	スポーツ課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
① 計画					② 達成度	③ 実績				④ 方針	
高齢者も比較的無理なく参加できる行事を開催する。 ①はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 内 容 自らの体力・健康を自覚し、自発的な介護予防 開催日 10月10日(木)～11月14日(木) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ(東側) 回 数 6回 ②市民ラジオ体操の集い 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月12日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 開催日 5月26日(日) 場 所 美和中学校 運動場 開催日 6月9日(日) 場 所 あま市役所新庁舎 ③市民体力測定会 内 容 市民体力測定会を実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月14日(土) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 内 容 岐阜県郡上八幡城下町周辺(約4km)をウォーキング 開催日 10月20日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月26日(日)					A:8割以上	高齢者も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①はつらつ健康教室～シニア運動教室～ 14人参加 内 容 自らの体力・健康を自覚し、自発的な介護予防 開催日 10月10日(木)～11月14日(木) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ(東側) 回 数 6回 ②市民ラジオ体操の集い 303人参加(全体) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月12日(日) 場 所 甚目寺総合体育館 野外ステージ 147名 開催日 5月26日(日) 場 所 美和中学校 運動場 156名 開催日 6月9日(日) 場 所 あま市役所新庁舎 雨天中止 ③市民体力測定会 参加45人 内 容 市民体力測定会を実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月14日(土) 場 所 甚目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 121人参加 内 容 岐阜県郡上八幡城下町周辺(約4km)をウォーキング 開催日 10月20日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 166人参加 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月26日(日)				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
【参考指標】						【予算／実績】					
① ラジオ体操の集い参加者数(全体)						報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料					
② 市民走ろう・歩こう会参加者数(全体)											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人	635人	303人			予算(千円)	961	1,101	1,181	1,039	
②	229人	雨天中止	166人			実績(千円)	218	664	758		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	89	事業名	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会の実施		担当課	スポーツ課
プランにおける 位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進		基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援			
	施策⑳高齢者の社会参画促進					
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、高齢者の社会参画を促進する。					
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント						

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	117	事業名	スポーツ・レクリエーション・文化活動を行う場の提供				担当課	スポーツ課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	施策⑳障がいのある人の社会生活向上のための取組										
施策概要	スポーツ教室、ラジオ体操の集い、市民歩け歩け会、市民走ろう歩こう会を開催し、障がいのある方の社会参画を促進する。										
【1】事業実績評価 ①6年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④7年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
障がいのある方も比較的無理なく参加できる行事を開催する。 ①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月12日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 開催日 5月26日(日) 場 所 美和中学校 運動場 開催日 6月9日(日) 場 所 市役所 ③市民体力測定会 内 容 市民体力測定会を実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月14日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 内 容 岐阜県郡上八幡城下町周辺(約4km)をウォーキング 開催日 10月20日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月26日(日)				A:8割以上		障がいのある方も比較的無理なく参加できる行事を開催した。 ①各種スポーツ教室 ②市民ラジオ体操の集い 303人参加(全体) 内 容 ラジオ体操を通して健康的な体力作り 開催日 5月12日(日) 場 所 基目寺総合体育館 野外ステージ 147名参加 開催日 5月26日(日) 場 所 美和中学校 運動場 156名参加 開催日 6月9日(日) 場 所 市役所 雨天中止 ③市民体力測定会 45人参加 内 容 市民体力測定会を実施し、健康及び体力の保持・増進 開催日 9月14日(土) 場 所 基目寺総合体育館 メインアリーナ ④市民歩け歩け会 121人参加 内 容 岐阜県郡上八幡城下町周辺(約4km)をウォーキング 開催日 10月20日(日) ⑤市民走ろう・歩こう会 166人参加 内 容 木曽三川公園東海広場の周回コース(一周2km)を自分の体力に合わせてランニング・ウォーキング(2km、4km、10km部門) 開催日 1月26日(日)				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点(自由記入)											
【参考指標】						【予算／実績】					
① ラジオ体操の集い参加者数(全体)						報償費、傷害保険料、委託料、車借上料、各種借上料					
② 市民走ろう・歩こう会参加者数(全体)											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	409人	635人	303人			予算(千円)	143	308	326	193	
②	229人	雨天中止	166人			実績(千円)	14	21	54		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価(該当する項目に○)											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画(他部署との連携協力を含む)した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫(情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等)をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	130	事業名	生活に関わるあらゆる相談にきめ細かに対応するための母子家庭等相談の実施				担当課	子ども福祉課				
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進						基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援					
施策概要	施策③ひとり親等生活困窮者への支援											
施策概要	母子・父子自立支援員がひとり親の自立に向けた、就業・子育てに関する相談・支援をする。											
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針												
①計画					②達成度		③実績			④方針		
母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。					A:8割以上		母子・父子自立支援員による自立支援に向けた、就業・子育てに関する相談を実施する。 母子家庭等相談件数 34件 母子家庭等就業相談件数 148件			継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 母子家庭等相談件数						母子父子自立支援員配置費						
② 母子家庭等就業相談件数												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	335 件	180 件	239 件			予算（千円）	2,441	2,434	3,338	3,461		
②	43 件	42 件	51 件			実績（千円）	2,435	2,245	3,119			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
										4点		
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	138	事業名	性的マイノリティ（LGBT等）の人権に関する講座の開催や、啓発物の配布				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 8 高齢者、障がいのある人、外国人市民等への支援						
施策概要	施策③④性の多様性と性的マイノリティへの理解促進										
施策概要	性的指向・性自認（性同一性）の多様性（SOGI）について理解を深めるため、啓発物の配布や、講座を開催する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布				A:8割以上		・啓発パンフレットを各施設の窓口に配置 ・啓発パンフレットを配布 ・人権施策推進本部員及び幹事、部会員、職員人権研修－ファミリーシップ制度について－ 日時：令和6年5月20日（月） 午後2時から午後3時30分まで 場所：市役所 D 会議室 内容：ファミリーシップ制度について 講師：風間 孝（中京大学教養教育研究院 教授） 参加人数：40人 ・市民人権講座、職員人権研修－性的マイノリティについて－ 日時：令和7年1月21日（火） 午後2時から午後3時30分まで 場所：七宝焼アートヴィレッジ 内容：ファミリーシップについて 講師：風間 孝（中京大学教養教育研究院 教授） 参加人数：30人				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
「ファミリーシップ宣誓制度」導入について市民へ理解を深めるとともに周知することができた。											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 情報提供および講座開催回数						市民向け啓発催事の報償費					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4回	4回	4回	1回		予算（千円）	20	0	52	0	
②						実績（千円）	20	52	52		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
3点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	145	事業名	複合的な課題やニーズに対応するための重層的支援体制の整備				担当課	社会福祉課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針 9 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援						
施策概要	施策③⑥相談体制の充実										
施策概要	地域住民やその世帯の複雑化・複合化した地域生活課題や支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する。										
① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
令和 6 年度以降、重層的支援体制整備事業への移行準備事業として、福祉部のほか関係各課と事務調整会議（仮称）を開催する。				C:3割以下		現時点で事務調整会議（仮称）は実施できていない。 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を令和 7 年度以降、実施できるように検討中である。 なお、実施に向けて県主催の研修案内等について回覧し、情報共有を行った。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 多機関協働の支援に至った相談件数											
② 事務調整会議（仮称）と重層的支援会議（仮称）の開催回数											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	0件	0件	0件			予算（千円）	0	0	0	0	
②	0回	0回	0回			実績（千円）	0	0	0		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。											
										点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	158	事業名	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針10 生涯を通じた女性のこころとからだの健康支援						
施策概要	施策③母子保健事業の充実										
施策概要	出産後の育児に関する悩みの軽減、虐待の予防を目的とした「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。										
【1】事業実績評価 ①6年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④7年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
支援の必要な妊婦についての妊婦訪問を随時実施する。あま市在住の家庭に対し、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。その後の支援も必要であるようなら継続的に訪問するため、「養育支援訪問」を導入する。 コーディネーター、地区担当保健師や助産師訪問を（産前産後サポート事業）実施する。				A:8割以上		こんにちは赤ちゃん訪問事業について、令和7年3月末現在535件（内、委託99件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、こんにちは赤ちゃん訪問を11件実施した。 養育支援訪問として24件実施した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	569件	567件	535件			予算（千円）	640	564	410	410	
②						実績（千円）	312	247	376		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	171	事業名	市の防災会議への女性の登用				担当課	危機管理課			
プランにおける位置づけ	基本目標 3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進				基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進						
施策概要	施策④②防災分野における男女共同参画の推進										
施策概要	防災分野において、男女のニーズの違いなど、男女の視点に配慮した防災活動を進める。防災会議で災害時における女性目線での意見を求める。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績			④方針		
防災会議を令和7年2月19日に開催予定。				A:8割以上		女性委員 4 人 防災会議を令和7年2月19日に開催した。			継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 委員の構成比率 女性／全体（人）						予算を伴わない					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	4/24	5/24	4/24	4/24		予算（千円）					
②						実績（千円）					
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										2点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	172	事業名	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発、連携体制の推進				担当課	人権推進課				
プランにおける位置づけ	基本目標3 誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの推進						基本方針11 男女共同参画の視点に立った地域防災の推進					
施策概要	施策④②防災分野における男女共同参画の推進											
施策概要	ジェンダーの視点による災害対策強化のための啓発や、連携体制をつくる。											
【1】事業実績評価 ①6年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④7年度計画方針												
①計画				②達成度		③実績				④方針		
・「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有 ・男女共同参画週間パネル展 開催日 令和6年6月24日（月）～6月28日（金） 場 所 市役所1階市民活動スペース 内 容 男女共同参画のキホーン 防災編ー				A:8割以上		・「相互支援ネット」（災害時における男女共同参画センター等の相互支援ネットワーク）で情報共有 ・男女共同参画週間パネル展 開催日 令和6年6月24日（月）～6月28日（金） 場 所 市役所1階市民活動スペース 内 容 男女共同参画のキホーン 防災編ー				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）												
男女共同参画週間パネル展について、令和5年度までは美和文化会館で実施していた。令和6年度は、庁舎1階市民活動スペースを利用し実施した。よって、多くの市民の目に届く啓発ができた。												
【参考指標】						【予算／実績】						
① 啓発活動の取組数						啓発活動にかかる報償費等						
②												
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
①	3	3	3			予算（千円）	74	0	0	0		
②						実績（千円）	66	0	0			
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）												
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○		
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○		
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。												
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○		
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○		
4点												
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント												

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	176	事業名	女性に対する暴力をなくす運動期間について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施				担当課	人権推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり			基本方針12 暴力の根絶に向けた意識啓発							
施策概要	施策④3暴力防止に関する啓発・情報提供の推進										
施策概要	女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日～25日）について広報に掲載し、パネル展及び市施設のパープルライトアップを実施する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画			②達成度		③実績				④方針		
・女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 ・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 開催日 令和6年11月12日(火)～11月25日(月) 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 「これって、性暴力？」 ・市施設のパープル・ライトアップ 開催日 令和6年11月12日(火)～11月25日(月) 場 所 市庁舎及びリバーサイドガーデン			A:8割以上		・女性に対する暴力をなくす運動期間 広報掲載 ・女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展 開催日 令和6年11月12日(火)～11月25日(月) 場 所 市役所 1 階市民活動スペース 内 容 「これって、性暴力？」 ・パープルライトアップ 開催日 令和6年11月12日(火)～11月25日(月) 場 所 リバーサイドガーデン内ガーデンブリッジ、市役所 周知媒体：市公式ウェブサイト、広報あま10月号 市政情報メール、市公式LINE、 市公式Instagram				継続		
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
女性に対する暴力をなくす運動期間パネル展について、令和5年度までは美和文化会館で実施していた。令和6年度は、庁舎1階市民活動スペースを利用し実施した。よって、多くの市民の目に届く啓発ができたと思う。											
【参考指標】					【予算／実績】						
① 市公式SNSの反応数					啓発活動にかかる消耗品費等						
② 催事に参加した市民の満足度（アンケート結果）の平均点											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	1,663	1,435				予算（千円）	0	0	0	0	
②	20点	79点				実績（千円）	0	0	0		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。										○	
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
4点											
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	184	事業名	地域防犯灯の設置支援				担当課	危機管理課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	区等が設置する防犯灯に対し、その設置費用の一部を補助し、防犯灯の設置を促す。また、寿命が長く電気料金も定額となるＬＥＤ防犯灯の普及を推進、区等の維持管理に関する負担を軽減する。										
【１】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
夜間における市民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るために防犯灯設置費補助事業実施する。				A:8割以上		区等に対し防犯灯設置費用を補助した。 計94灯 従来型防犯灯（蛍光灯等） 補助率1/2 13千円/灯 まで補助 LED防犯灯（新設または省エネルギー化のための交換） 補助率2/3 40千円まで補助 LED防犯灯（老朽化による交換） 補助率1/2 13千円まで補助				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 区管理の防犯灯のLED化率						防犯灯設置費補助金					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	80.8%	82.3%	85.0%			予算（千円）	8,400	8,400	7,200	4,045	
②						実績（千円）	5,326	3,035	3,451		
【２】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。											
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。											
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。											
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										1点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	197	事業名	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）の実施				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針13 犯罪防止に配慮した環境整備						
施策概要	施策④⑤相談・支援体制の充実と周知										
施策概要	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）の実施する。										
【1】事業実績評価 ①6年度計画 → ②達成度 → ③実績内容 → ④7年度計画方針											
①計画				②達成度		③実績				④方針	
こんにちは赤ちゃん訪問を随時実施				A:8割以上		こんにちは赤ちゃん訪問事業について、令和7年3月末現在535件（内、委託99件）実施。 また、他市町村の依頼によりあま市に里帰りしている市外在住の母子について、こんにちは赤ちゃん訪問を11件実施した。 養育支援訪問として24件実施した。				継続	
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
こんにちは赤ちゃん訪問実施件数						委託料					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	569件	567件	535件			予算（千円）	640	564	410	410	
②						実績（千円）	312	247	376		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											

男女共同参画プラン特別事業評価シート

事業番号	198	事業名	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会の開催				担当課	健康推進課			
プランにおける位置づけ	基本目標 4 あらゆる暴力の根絶のための基盤づくり				基本方針14 被害者の実情に応じた切れ目のない支援体制の充実 施策④⑤相談・支援体制の充実と周知						
施策概要	妊娠・子育てつなぐサポート事業としての要支援検討会を開催する。										
【1】事業実績評価 ① 6 年度計画 → ② 達成度 → ③ 実績内容 → ④ 7 年度計画方針											
①計画					②達成度	③実績					④方針
母子健康手帳交付時の面談の様子や、収集した情報を元に必要時は支援プランを立案し担当者と情報共有をする。要支援検討会 月に14回開催。必要時、プラン変更しながら継続的な支援を行っていく。					A:8割以上	要支援検討会を計14回開催した。健康推進課職員、子育てコンシェルジュ、子ども福祉課職員が参加し、必要時は他課とも連携し、情報共有しながら必要な支援体制を検討、実施した。R6年度のケース検討数は184件、支援プラン作成者は152名であった。					継続
成功した点、前年から改善した点、課題・問題点（自由記入）											
【参考指標】						【予算／実績】					
① 要支援検討会の開催回数						専任コーディネーター、アドバイザー費用					
②											
	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
①	15回	15回	14回			予算（千円）	3,603	3,614	4,332	5,038	
②						実績（千円）	3,543	3,033	3,617		
【2】事業配慮度評価 男女共同参画の視点による評価（該当する項目に○）											
1. 事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見を聞いた、または双方が参画（他部署との連携協力を含む）した。										○	
2. 意思決定の場への女性の参画を促した。または男女均等なリーダーシップの機会を与えた。										○	
3. 事業の対象となる人々やその現状を男女別にデータをとって把握した。											
4. 男女双方が利用しやすいよう、または性差別の解消に向けた工夫（情報発信の表現・手段、時間帯、育児・介護の便宜等）をした。										○	
5. 事業の実施により固定的性別役割分担意識を間接的に助長する影響はなかった。										○	
										4点	
事業に対する男女共同参画審議会からの評価コメント											